

# 地域支援の取組について （西部地域で試行中）

静岡地方気象台

# 地方気象台等における「観測・予報業務」の強化 ～最新の科学技術を駆使した実施体制～

## 【従来】

現象解析→予想→  
警報発表等の作業を  
全て地台が実施

### 地方気象台（地台）

- ・ 気象現象の解析
- ・ 府県内の気象推移（シナリオ）検討
- ・ 警報等の発表判断
- ・ 予報・警報の端末入力作業
- ・ 予報・警報の伝達確認
- ・ 「記録的短時間大雨情報」、「竜巻注意情報」の発表



定時の地上気象観測通報

観測データ監視・品質管理

地台を支援

- ・ 各種予報の基礎資料 送付
- ・ 「地方指示報」1日2回

### 管区気象台等（中枢）

東海地方においては名古屋地方気象台

中枢を支援

- ・ 各種予報の基礎資料 送付
- ・ 「中央指示報」1日2回

### 本庁（観測・予報）

役割分担の見直し・最新技術の活用

## 【新体制】

地台・中枢が一体的に作業、  
最新科学技術を駆使して気象状況を詳細に分析し、  
より充実した予報・警報を迅速に発表

### 地方気象台（地台）

- 府県内の気象シナリオ検討
- 警報等の発表判断  
(悪天予想時は昼夜通じて現業体制、  
平穏時の夜間は宿直体制)

難しい気象も  
中枢と連携して  
分析！

警報の発表  
判断により  
集中！



地域防災に直結した情報の  
発表判断に集中

定時の地上気象観測通報は自動的に実施



- ◆ 地台・中枢の予報官が連携して今後の推移を検討、  
顕著現象予想時には迅速に情報を作成・発表

### 管区気象台等（中枢）

東海地方においては名古屋地方気象台

- 充実した観測・予測資料に基づき、  
管内の気象現象の精緻な解析・  
管内のシナリオ骨子作成
- 予報・警報等の端末入力作業
- 予報・警報等の伝達確認等

管内の気象を  
詳細に分析！



地台への支援機能を強化

- ・ スパコンを最大限活用した予想資料  
(局地モデル、メソアンサンプル等)  
を十分に活用
- ・ 地台をリアルタイムでサポート

管内の観測データ監視・品質管理

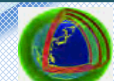
- ◆ 気象レーダー・衛星・スパコン等の最新科学技術を駆使した充実した観測・予測資料を共有

### 本庁（観測・予報）

- 積乱雲等を全国一元的に集中監視し、  
「記録的短時間大雨情報」、  
「竜巻注意情報」を迅速に発表



- 線状降水帯や台風等の予測を行う  
「数値予報モデル」の技術開発を強化



※地震・津波に関する情報は、気象庁本庁又は大阪管区気象台から全国分の情報を、火山に関する情報は、本庁及び札幌、仙台、福岡管区の火山監視・警報センターから、それぞれ迅速に提供する。

# 地域に根ざした気象台の防災業務の強化

**各市町村の窓口となる職員（地域担当）を配置し、**  
**平時から「顔の見える関係」を構築することで、地域防災力の向上に直結する取組を推進します！**

## 地方気象台「各市町村窓口」

- ・顔を覚えてもらい緊密な関係構築
- ・緊急時対応の知見・認識を共有



- 平時から「顔の見える関係」を構築し、気象・気候・地震・津波・火山等に関する市町村からの問い合わせに“ワンストップ”で対応
- 地域の「我が事」感をもった防災力向上に直結する取組を、気象台を挙げて推進
  - － 地域に密着した日頃からの解説
  - － 防災対応マニュアル等への助言
  - － 実践的な研修・訓練
  - － 気象や地震・津波・火山等の特性・災害リスクを共有
  - － 協議会の枠組での防災対応検討（河川、火山）等

・常に同じ窓口となる気象台職員が対応するため、日頃から相談しやすく、ワンストップでのやり取りが可能に。  
 ・平時の関係構築や、市町村個別の特徴を踏まえた実践的な研修や訓練を通じ、緊急時には気象台と連携した円滑な防災対応を行うことが可能に。

平時には

- ・顔を覚えてもらい緊密な関係構築
- ・緊急時対応の知見・認識を共有



各地域の個々の市町村等に対し、より積極的かつ責任をもって対応

相乗効果で推進

地域防災官、  
 地域防災係を設置  
 (H31概算要求)

緊急時には

- ・顔の見える関係で切迫感が伝わる解説を
- ・情報を的確に「理解・活用」した防災対応へ



※JETT（気象庁防災対応支援チーム）



# 地域防災支援チーム試行 静岡地方気象台

今後計画されている地方気象台の体制移行に向けて、地域防災支援チーム（以下、支援チーム）の試行を実施し、支援チームの実効性について課題等の抽出、整理を行う。  
試行は西部地域（7市1町）の1チームを編成し、実際に各種支援業務を行う。



## チーム編成

チーム長：防災気象官

チーム員：火山防災調整係長、防災情報係長、技官

サポート：予報官

## 試行期間

2019年4月～2020年3月（予定）

## 主な取り組み

地域に密着した日頃からの解説

防災対応マニュアル等への助言

気象や地震・津波・火山等の特性・災害リスクを共有

実践的な研修・訓練

協議会の枠組での防災対応検討（河川、火山）等



## 顔の見える関係作りのためのツール…チームロゴ



支援チームのロゴ

気象庁マスコットキャラクター「はれるん」と静岡県イメージキャラクター「ふじっぴー」を使用して連携しているイメージを表現。